

PAT-NO: JP411232496A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11232496 A

TITLE: METHOD FOR ISSUING CERTIFICATE AND ITS DEVICE

PUBN-DATE: August 27, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TSUCHIYA, HISAAKI	N/A
MINEGISHI, KATSUYUKI	N/A
YOKOUCHI, TERUICHIRO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TOKIO MARINE & FIRE INSURANCE CO LTD	N/A

APPL-NO: JP10034600

APPL-DATE: February 17, 1998

**INT-CL (IPC): G07B001/00;B41J029/38 ;G06F003/14
;G06F019/00**

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve customer services and efficiency in business in an automatic contract certificate issuing machine.

SOLUTION: An application entered by a contractor is inserted to the inserting part of a certificate issuing machine 202, data of the application is read by an automatic reading device and it is stored in a temporary storage device.

Data of contract contents inputted by a touch panel system and required parts in data stored in the temporary storage device are printed 203 in the application and in a contract certificate and the certificate is issued so that data input business to a computer is limited to the absolute min. one.

Besides, contract data is automatically transmitted to a host computer and preserved after the completion of an operation in the contract certificate issuing machine and even when trouble occurs at the side of the contractor, the trouble is immediately dealt with by retrieving and inquiring (T) data which is

preserved in the host computer.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-232496

(43)公開日 平成11年(1999)8月27日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I
G 07 B 1/00		G 07 B 1/00 E
B 41 J 29/38		B 41 J 29/38 Z
G 06 F 3/14	310	G 06 F 3/14 310 B
19/00		15/22 A

審査請求 有 請求項の数2 OL (全9頁)

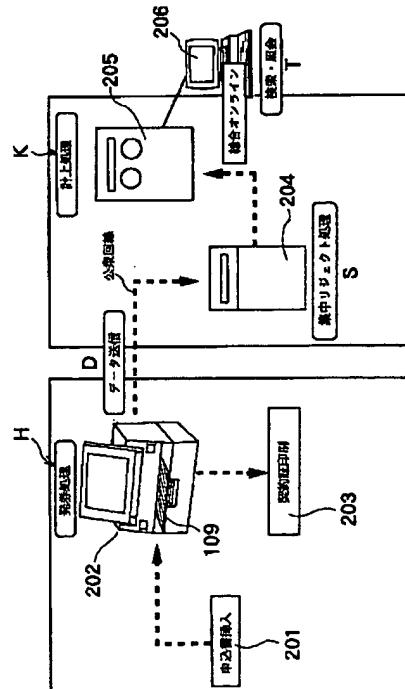
(21)出願番号	特願平10-34600	(71)出願人	595140170 東京海上火災保険株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目2番1号
(22)出願日	平成10年(1998)2月17日	(72)発明者	土屋 寿明 東京都千代田区丸の内1丁目2番1号 東京海上火災保険株式会社内
		(72)発明者	峰岸 克行 東京都千代田区丸の内1丁目2番1号 東京海上火災保険株式会社内
		(72)発明者	横内 輝一郎 東京都千代田区丸の内1丁目2番1号 東京海上火災保険株式会社内
		(74)代理人	弁理士 専 経夫 (外3名)

(54)【発明の名称】 証券の発行方法及びその装置

(57)【要約】

【課題】 自動契約証発行機に関して、顧客サービスの向上と業務の効率化を図る。

【解決手段】 契約者によって記入された申込書を発券機202の挿入部に挿入し、前記申込書のデータを自動読取装置によって読み取り、一時記憶装置に記憶させる。タッチパネル方式で入力された契約内容のデータと前記一時記憶装置に記憶させたデータの必要部分とを前記申込書及び契約証に印字203して契約証を発行させることにより、コンピュータへのデータ入力業務を必要最小限に限定している。また、契約証発行機の操作終了後自動的に契約データをホストコンピュータに送信し保存して、契約者にトラブルが生じた時にも前記ホストコンピュータに保存したデータを検索・照会Tして即時に対応する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 必要事項が記入された文書一回分を端末装置に挿入することによって機械読み取りされるデータと、入力装置から入力されるデータとに基づいて、必要事項が記入された証券を自動的に上記端末装置から発行するとともに、

上記すべてのデータを受信サーバを介してホストコンピュータに送信することを特徴とする証券の発行方法。

【請求項2】 申込書用紙及び証券用紙を差し込む文書差し込み部と、

所要事項を入力する入力装置と、

差し込まれた上記文書から機械的読み取り装置によって読み取られたデータを一時的に記憶する記憶部と、

上記記憶部のデータを前記申込書用紙及び証券用紙に印刷する印刷部と契約データを送信する通信部とを備えることを特徴とする証券発行装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、操作性が良く、業務の効率化に有効な、証券発行の方法及びその装置に関する。ここでいう証券には自動車任意保険、火災保険、傷害保険、自賠責保険等の証券又は契約証が含まれる。

【0002】

【従来の技術】 従来、例えば、海外旅行傷害保険の契約証を発行する場合には、代理店において、保険料を料金表に基づいて手計算したり、もしくは保険料の計算に必要な事項を入力して証券を発行する機械式の発券機を使用したりして、契約する保険の保険期間、種類等を申込書及び契約書に印字して発行していた。しかし、契約証の発行は機械によって行うことができても、契約内容のホストコンピュータへの入力等はオペレータによって行わなくてはならず、業務上効率性が悪く、代理店において契約が成立しても、実際に契約データをホストコンピュータ上で管理できるまでには時間がかかるものであった。

【0003】 そこで、保険会社と代理店とをオンラインで接続して、代理店で端末に入力されたデータは端末に保存しておくことができるとともに、即日に保険会社のホストコンピュータに送信することができる方法が用いられるようになった。これにより被保険者が旅行先でトラブルに遭った場合にも、保険会社は、すぐに契約内容を参照でき迅速かつ的確な対応をとることができるようになつた。

【0004】 また、申し込み時に契約者が記入した契約者に関するデータの内、証券の発行に必要なデータのみを使用して、それ以外の契約者に関するデータはホストコンピュータに入力しないで書面として保存し、データ入力という業務上の手間を減らす方法もとられていた。しかし、手書き文書中の所定事項（氏名、電話番号等の個人情報）を機械的に読み取って、読み取った情報を証

券に印字する方法はこれまで取られていなかった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上述の機械式の発券機による発行の方法にあっては、契約者名等の入力の必要がないため利便性は高いものであったが、保険料の計算の利便性及び正確性に欠ける場合もあり、代理店における保険料の集計及び契約者のデータ集計の効率が悪く、保険会社への契約データの伝送に時間がかかるため、契約後から保険会社が契約データを集計できるまでの事故及び契約者からのクレームに対し速やかに対応できない等の問題があった。

【0006】 また、上述の保険会社と代理店とをオンラインで接続する方法にあっては、契約者のデータが保険会社のコンピュータ上で管理できるまでに時間がかかるので、契約後の事故、クレーム等に対して速やかに対応できるものであったが、代理店においてコンピュータへの契約者のデータ入力に手間がかかるという欠点があった。

【0007】 また、上述のデータ入力という業務上の手間を減らすために、書面として契約データを保存する方法にあっては、事故、クレーム等に対してデータの処理に時間がかかり業務効率性が悪いという問題があった。

【0008】 本発明は上記問題に着目してなされたもので、保険申込書に記入されたデータを読み取り装置によって自動的に読み取り、必要なデータのみを証券の用紙にあるいは保険申込書に印字し、また、コンピュータへのデータ入力業務を減らすことによって、業務効率を改善すると共に、確実な保険の契約を行うことができる証券の発行方法及びその装置を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】 上記問題を解決するために、請求項1の証券の発行方法に係る発明は、必要事項が記入された文書一回分を端末装置に挿入することによって機械読み取りされるデータと、入力装置から入力されるデータとに基づいて、必要事項が記入された証券を自動的に上記端末装置から発行するとともに、上記すべてのデータを受信サーバを介してホストコンピュータに送信することを特徴とするものである。

【0010】 また、上記問題を解決するために、請求項2の証券発行装置に係る発明は、申込書用紙及び証券用紙を差し込む文書差し込み部と、所要事項を入力する入力装置と、差し込まれた上記文書から機械的に読み取られたデータを一時的に記憶する記憶部と、上記記憶部のデータを前記申込書用紙及び証券用紙に印刷する印刷部と契約データを送信する通信部とを備えることを特徴とするものである。請求項1及び2の発明において、入力装置はキーボード、タッチパネル等、既存のものから任意に選択できる。また、請求項2の発明において、文書差し込み部は、証券用紙及び申込書用紙双方の兼用とするか、あるいはそれぞれ別個の文書差し込み部とするか

は、必要に応じて設定できる。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る証券の発行方法及びその装置の実施の形態を添付図面に基づいて説明する。

【0012】図1は、本発明の証券発行装置の一形態を示す構成図である。本発明に係る証券発行装置は、図1に示すように、契約者が記入した申込書用紙を差し込む申込書差し込み部101と、タッチパネル付きのLCDの表示部102と、前記差し込み部101から差し込まれた申込書の内容をイメージデータとして取り込むための文書識別部（イメージスキャナ）103と、証券発行装置の処理を行う演算処理部104と、OS及び各デバイス（タッチパネルのマウスエミュレーション、サーマルプリンタ、インクジェットプリンタ、イメージスキャナ、ディスプレイ、モデム）ドライバ等が記憶されている記憶装置（HDD）105と、発行過程の処理データを記憶しておく一時記憶部106と、ホストコンピュータに証券の契約データを伝送する通信部としての通信用モデル107と、サーマルプリンタ、インクジェットプリンタを有する印刷部108と、証券、集計データ等の印刷物を出力する、発券機の前方及び後方に設けられる2個のプリント排出部109、110とから構成されている。この実施の形態では、入力装置としてタッチパネルが選択され、また、文書差し込み部は、申込書差し込み部101と、発券機202の後部に位置する文書差し込み部（図示省略）とが設けられている。

【0013】図2は、本発明の一形態である旅行保険に係る証券が発行され、発行された証券の契約内容データがホストコンピュータに保存されるまでの流れを表した図である。先ず、代理店の営業日の朝、発券機202のスイッチがオンとされる。発券処理Hの過程において、契約者が必要事項を記入した申込書が、申込書挿入201の過程で、発券機202の挿入部から挿入される。発券機202は、挿入された申込書が正規の申込書であるか否かの判別を内蔵されたセンサ（図示省略）によって行い、正規申込書の場合には、内蔵されたイメージスキャナ103によって申込書記入事項の読み取りが開始され、申込書の該当箇所から発券処理に必要な部分が読み込まれていく。読み込まれたデータは、一時記憶部106に記憶される。

【0014】次に、挿入された申込書には、代理店コード、証券番号、及び保険料等が印刷部（プリンタ）108によって印字され、発券機の後方に位置する後方プリント排出部110から排出される。当該排出された申込書は、控えデータ書類として保存される。一方、前記一時記憶部106に記憶したイメージスキャナ103によって読み取られたデータと前記表示部102上であらかじめ入力されたデータが、契約証の印刷203の過程で、発券機202の後方に設けられている、後方プリント

排出部110に隣接した、文書差し込み部（図示省略）から自動的に挿入される証券用紙に、印刷部108によって印刷され、発券機の前方に位置する前方プリント排出部109から排出される。また、証券を発行するために使用された前記のデータは、保険契約者データとしてホストコンピュータ205に送信されるために、記憶装置105に記憶される。そして、記憶装置105に記憶されたデータは、あらかじめ決められた時間（例えば、毎日午前零時）に達するとデータ送信D過程でオンライン（公衆回線）を使用して受信サーバ204に送信される。なお、発券機202には、発券処理Hの過程における操作入力データの保護のために、電源オフスイッチを設けず、表示部102の入力画面上で業務終了ボタンを設け、当該業務終了ボタンが押され、かつ前記記憶装置105に記憶されたデータが受信サーバ204に伝送された場合に、自動的にオフするように設定がされている。また、他の実施の形態として、電源オフスイッチを独立して設けて、業務終了後に、スイッチによって電源をオフさせることもできる。その場合でも、データが送信されることには変わりがない。

【0015】受信サーバ204に伝送されたデータは、集中リジェクト処理S過程において、発券機202で取り込んだイメージデータのOCR処理が行われ、リジェクトされた部分の訂正が行われる。訂正されたデータは、計上処理K過程に送信され、ホストコンピュータ205によって処理され、保存される。そして、契約者が事故に遭った場合には、検索・照会T過程において、端末206を操作することでホストコンピュータ205に保存された保険契約者データを検索・照会して即時対応することができる。

【0016】以下、旅行傷害保険の証券の発行方法について説明する。図3は、表示部102に最初に表示されるメニュー画面である。ここでは、個人用の海外旅行傷害保険の証券を発行する海旅個人301が選択（タッチパネル上の該当ボタンを押す）された場合について説明する。

【0017】海旅個人301が選択されると、表示部102には、図4の画面が表示される。この画面では、個人401が、個人用の海外旅行傷害保険の選択されたことを表示している。次に、保険期間402を選択すると、保険期間の設定画面である図5が表示される。始期日と終期日の「年」・「月」に関しては矢印Yで選択し、「日」に関しては日にちボタンBで選択して設定していく。設定が終了しOKボタン501を選択すると、再び図4が表示され、設定された日にちが表示領域411に、例えば1997年11月14日～1997年11月21日と表示される。なお、図4において保険期間の「年」「月」「日」に直接数値を入力することも可能である。その場合には表示領域411の入力箇所を選択すると、画面上に入力パネルが表示され、契約する数値を選択していく

ことで設定できる。

【0018】次に、契約タイプ403を選択すると、図6に示すように、前記のようにして設定された保険期間を元に契約タイプの一覧表が表示され、タイプボタン601～60Nの中から契約するボタンを選択する。選択された保険の保険金額は図4の表示領域Pに、そして保険料は表示領域Qに表示される。保険内容の種類404～410は、それぞれ個別で設定可能であり、再設定する場合には保険内容の種類404～410ボタンを選択して、画面上に表示される選択した種類の保険金額の一覧表（図示省略）から契約したい金額を選択すればよい。この時、選択された保険金額に応じて、自動的に保険料が算出され表示領域Qに表示される。

【0019】以後、同じ方法で旅行取消タイプ、旅行短縮タイプ、緊急一時等の保険金額を設定していく。なお、氏名等ボタン414を選択すると、契約者名、被保険者名等を入力するための画面及び入力パネルが表示され、入力パネル上のローマ字又はカナ文字を選択することで入力設定が可能であるが、この機能を使用しない場合には、イメージスキャナによって取り込まれた申込書の手書きの契約者名、被保険者名等が契約証券に印字され使用される。

【0020】入力事項の設定をすべて完了し、証券の発行をする場合には、図4の画面において発券ボタン413を選択する。発券ボタン413が選択されると、前述したように証券用紙にイメージスキャナで取り込んだデータと前記画面上で入力したデータが印字され、発券機202の表面側に位置するプリント排出部から証券が排出される。そして、発行された証券のデータは記憶装置105に記憶保存される。

【0021】また、契約設定を完了して、証券が発行済の契約内容を再度確認したい場合には、図4に示す画面で契約検索ボタン412を選択し、画面表示される検索条件入力画面（図示省略）に検索条件、例えば、保険期間、契約証番号、電話番号等、を入力することで検索を行うことができる。入力された検索条件で検索されたデータは、図7のように表示され、表示された契約情報の中から該当する契約を選択した後に確認ボタン701を選択する。指定された契約内容は、図8のように表示され、同様の契約内容で発行する場合には、上書入力ボタン801を選択した後に、修正したい箇所のボタンを選択することにより、修正したい部分のみを再設定することができる。

【0022】また、契約内容の集計表を印刷出力することも可能であり、図3の集計表ボタン302を選択すると、出力する帳票の種類、例えば、日次集計、月次集計、年次集計等が表示され、出力したい種類とその範囲

を指定することで、必要なデータのみを印刷することができる。

【0023】

【発明の効果】請求項1に係る発明では、契約者が記入した申込書の文書を機械読み取り（例えば、イメージスキャナでデータを読み込む）して、契約書に印字し自動的に発行することができ、契約者が記入した部分は端末等により再入力する必要がなくなるので、発券業務の効率性を下げることなく、または、他の入力業務を発生させることなく、契約データの取得ができる。

【0024】請求項2に係る発明では、手書文書を文書差し込み部に差し込み、入力装置を使用して所要事項を簡単に入力することができ、その上契約データをホストコンピュータに送信することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の証券の発行に用いる発券機を示す構成図である。

【図2】本発明の実施の形態に係る、証券が発行され契約内容データがホストコンピュータに保存されるまでの流れを表した図である。

【図3】本発明の実施の形態に係る証券の発行方法のメニュー画面を示す図である。

【図4】本発明の実施の形態に係る証券の発行方法の契約内容を示す図である。

【図5】本発明の実施の形態に係る保険期間を設定するための設定画面を示す図である。

【図6】本発明の実施の形態に係る保険の契約タイプを示す図である。

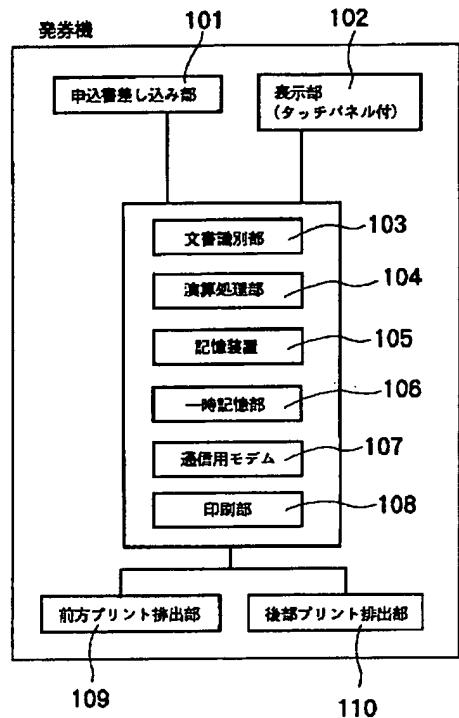
【図7】本発明の実施の形態に係る保険の契約情報を示す図である。

【図8】本発明の実施の形態に係る保険の契約済みデータを示す図である。

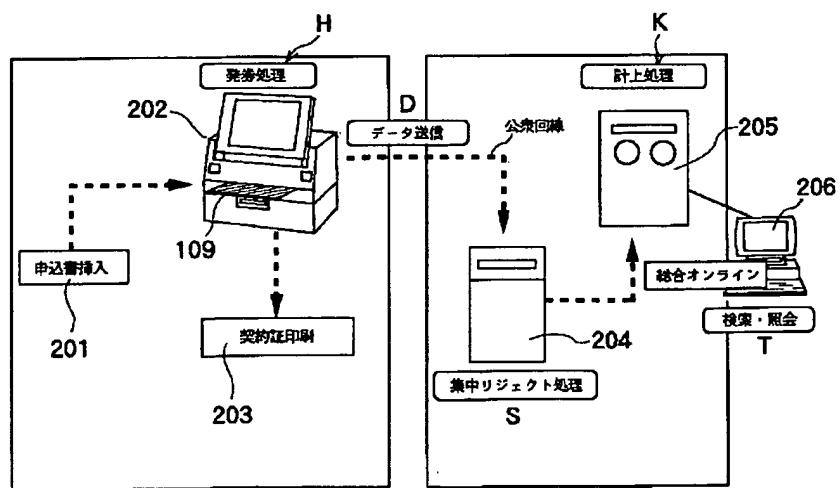
【符号の説明】

- 101 申込書差し込み部
- 102 表示部（タッチパネル付）
- 103 文書識別部
- 104 演算処理部
- 105 記憶装置
- 106 一時記憶部
- 108 印刷部
- 109 プリント排出部
- 202 発券機
- 203 契約書印刷
- 204 受信サーバ
- 205 ホストコンピュータ
- D データ送信

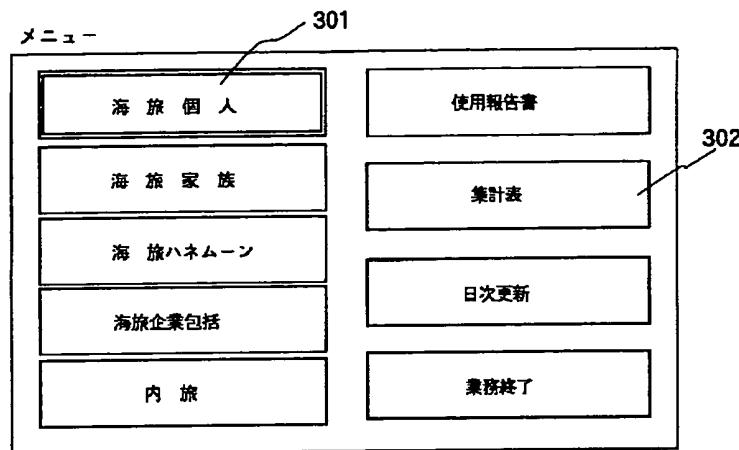
【図1】



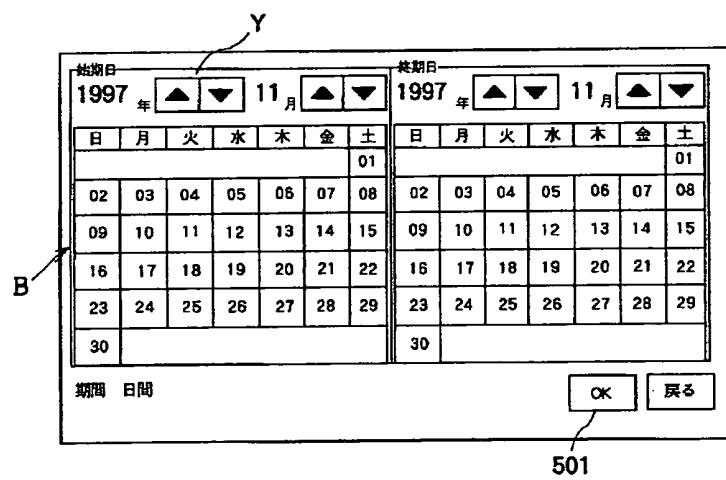
【図2】



【図3】



【図5】



501

【図4】

【図6】

【図7】

【図8】

契約証No		保険期間		券済		1日間		個人	
KT00000267		1997年10月30日~		1997年10月31日				券済	
契約番号		21		旅短		旅消		被保険者数	
								00001人	
保険金額(千円)		保険料(円)		保険金額(千円)		保険料(円)		保険料(円)	
傷害死亡		20.000		400		旅行取消		上書き入力	
傷害治療		4.240		250		旅行短縮		全消去	
疾病治療		4.240		760		緊急一時		取消	
疾病死亡		20.000		1.000				異動	
賠償責任		50.000		20				異動不可	
携行品		400		390				×二ユ一	
救援者		6.000		180		合計保険料		契約検索	
						3.000		(@ 3.000)	

801

